

川上孝裕 様

お世話になりました。この映画をとおして、人生について様々な考えをもつことができました。  
このような貴重な体験をさせていただいたことに感謝しています。  
生徒の感想や写真も送らせていただきます。  
本当にありがとうございました。

大西中学校 阿部隆徳



うそから始まった和世の旅は、後になるにつれて良い経験になったことが分かりました。このように人との出会いで、自分の居場所を見つけ、自分に自信が持てるようになっていく和世を見て、改めて出会いは大事だと気付かされました。もし、自分が和世の立場だと柳下さんが倒れて入院しているとき、私は最後まで柳下さんの元気な姿は見届けていないと思います。和世の人思いの優しい心に感動しました。話し合いでは、どの意見も共感できるものが多く、すごく参考になりました。これから先、自分の人生は自分らしく生きていき、柳下さんのような楽しい人生を送りたいです。これからの出会いも大切ですが、今までの出会った人も、今私がここに居ることは周りの支えのおかげなので感謝したいです。学んだことを生かせるようにしたいです。

。私は今回の映画を見て、2つ心に残ったことがあります。1つ目は、うそをつかないことです。なぜならこの映画の主人公が友達にうそをついて、追いつめられて、自分を苦しめていたし、うそをたくさんついていたらもう友達からの信頼度もなくなって全然信じてもらえていなかったからです。2つ目は、「また会おう。」という言葉です。なぜなら「さよなら。」は私の中でもう会えない感じがするけど、「また会おう。」なら、今はもう別れるけど、またいつかどこかで会おうという感じがするからです。私は、今回の映画を見て感じたこの2つのことをこれからの生活で実行していけたらいいし、友達もこのようなことを感じてくれていいなと思いました。

私はこれから先「出会い」に感謝をしようと思うようになりました。これから先ではなく今までの「出会い」にも感謝をしたいです。特に感謝をしたいのは、3年生のみんなです。私は小学2年生の時に大西小学校へ来ました。私は人見知りが激しく自分からはなかなか話しいいけませんでした。でも次の日が遠足だったこともあり、私は転校生ながらもみんなとすぐに仲良くなることができ、今ではすっかりなじんでしまいました。私は、この3年生と出会えたことが本当に嬉しいです。高校生でできた友達は一生物とよく聞きますが、私は、今までの約8年間を一緒に過ごしてきた大西中3年生が私にとって一生の宝物です。中学を卒業すると会えなくなる友達がほとんどだと思っています。でも、20歳の成人式でみんなに会えることを楽しみにしています。これからまたまだ人生は長いので、たくさんの人達との1つ1つの「出会い」を大切にしながら、過ごしていきたいです。

今までは人に任せたり頼ってしまうところがあつて中々自分で物事を決められていませんでした。でもトラックの運転手の人  
の言葉でやっぱり自分のことはしっかり自分で決めようと思  
いました。また、主人公がいろいろの人と出会っていきとちとちが  
様々な生活を送っていました。生き方は人それぞれなんだ  
な"と思"ました。出会った人々は皆主人公に「また会おう」と  
言っていました。私もそんなことが言えるような良い出会い  
をした"と思"ました。運転手の人か末期がんだたように  
人間いつ死んだ"りするかわからないので一日一日を  
大切に生きています。主人公は嘘をよくついていた  
けれど人を傷つけたりはしていませんが、たし旅をして嘘をつか  
なくなっていて今回の旅が主人公にとってかけがえのない  
ものになったんじゃないかと思"ました。

この人権集会で映画を見てまが一番に思ったのは、人との出会いや人との繋がりがとても大切なことだということだ。私は今まで、たくさんの方と友達や先生、先輩や後輩、また地域の方々などに会ってきました。その中でも、中学校に上がる時に別々になって会えなくなった友達と、部活動の大会などで再会したとき覚えてくれていて、話しかけてくれたことがとても嬉しかったことを覚えています。一度会えなくなっても、一度だけ話しただけで、人と人は繋がっていくんだと思いました。また、この映画の中でもあったように、嘘はついてはいけぬものだと思いましたが、相手のためを思って言う嘘はいいことなのではないかと改めて考えさせられました。カズヤが柳下さんにお世話になる代わりにとった行動を自分で満足して怒られていたの、自分も他人とつながると思いました。評価は自分ではなく他人があるものなので、何事にも一生懸命に自分で上を目指せるような人になりたいと思いました。また、他人のために自らすすんで行動できる人になれるよう努力しようと思います。

出会いというのは、だれもが必ずある、  
当り前のことと思いがちだけれども、  
実はとても大切で自分の将来に関わる  
出来事というのが分かった。

その中でもお互いの悪い所、良い事  
を見つけ、楽しみなどを一緒に実  
感出来る人と出会えることが出会  
いだと思った。ウソをつき、ごまかす  
ようなことは良くないと思う。しかしすべての  
ウソが悪いわけではないと思う。出来もしな  
いことを本当にかたかのようなことをつき  
自分を苦しめることはだめだ”と思う。

主人公は「うそをついた時だけしが自分の居場所がない」というように話していましたが、人間、うそをつくのはあると思います。でも、うそをつきすぎて、自分がよく分からなくなりうそでぬりかたまれたいつわりの人生を送るのは駄目じゃないかなと思いました。結局どのような人生を送るかどのように考え、行動するかは自分でしか決められないし、相手が自分をロボットのようには操きもできないから、自分の事は自分で責任を取らないといけないという事を改めて思い知らされました。そしてその映画から、自分の言動にはきちんと責任をもち自分を見失しわないようにこれから生活していきたいと思いました。そして自分の生き方を考えさせるとてもいい映画だなと思いました。



私は、この映画を見て、人との出会いは大切なものと  
学ぶことができませんでした。この映画は、主人公の嘘から旅が  
始まります。嘘をつくことは、いけないことだと思っています。  
でも、私は人に合わせるため、人に嫌われないように嘘をつい  
たことがあります。私も主人公と同じだなと思いました。

世界には何億人という人がいます。しかし、自分が生まれて  
から死ぬまでに会えるのは、本当に少ししかいません。だから、  
今まで出会った人やこれから出会う人を大切にしていました。  
いとこの映画を見て思いました。出会いで人は成長すること。  
いろいろなことを学ぶことができることを改めて知ることが  
できました。

この映画に「一期一会」という言葉が合うなと思いました。主人公が嘘をついてしまったがでいろいろな人と出会い、学んでいく姿がとても印象に残りました。東京に行って実際写真をとったが、マンガの日付や市を誤魔化していたりしていました。私は登場人物の言葉のなかで「自分の主人は自分だから自分のさ」というセリフは気に入りました。「その通りだよ」思ったのもあるし、「自分の人生は自分で決める」という部分もいいなと思いました。主人公はそれぞれの人の思いを伝えていていました。主人公に対する言葉はみなさん厳しかつたですがどこか温もりのあるものを言っていたのではないかと思います。

最後にこの映画はとても考えさせられるものでした。一人の少年の嘘によってその少年の生き方や考え方が変わったのではないかと思います。私はこの映画を見て今の自分達に必要な物は何かを考えていくようにそこから自分の生き方や考え方を見直すきっかけになりました。

主人公は物語の中で、たくさんの人に出会い成長していきます。特別な人と出会ったわけではないけど、みんな主人公に1人の人間として生きていくための大切なことを教えてくれます。人との出会いというのは何かしら、自分に影響があることだと思います。悪い出会い、良い出会いがあると思いますが、悪い出会いをしたからと行って、上手くいかないことを出会いのせいにしてはいけないと思います。出会いは自分を必ず成長させてくれると思います。これからの長い人生の中で私はたくさんの人と出会うと思います。その出会いはきっと自分にとって価値のあるものになると思います。友人や家族といった、たくさんのお会いの中で、生きる力というのを身につけられると信じています。でも最後には自分に責任をもって自分の意思で物事を決めなければなりません、そのこともふくめて、これからの出会い一回一回を大切にしていきたいと思いました。

僕は、入権集会で映画をみて、入との関わりは、大事なんだということがわかりました。映画でも、主人公がいろいろな人と出会い、関わりをもつことにより、初めはダメだった主人公もかわっていったんだと感じました。なので、これから関わる多くの人の考えをきいて、自分自身がかわっていったらいいなと思います。

次に、うそはいけな...ということがわかりました。しかし、人は、たぶん、一生に一回はうそをつかなくてはいけな...場面かでてくると思います。その時自分を守るうそではなく、相手のためのうそをつけるようにしたいです。だからといってうそは、いくら相手のためでもダメなものだと思います。これから、できるだけうそをつかないように気をつけて、生きていきたいです。この映画から学んだことは、これからの人生にも、役に立つと思うので、いかしていきたいです。

0. このからはいくら女にいくら女と易面でお会うと思ふけどその  
しを大切にしていきた女と思ひました。また、デコトラに乗っていた  
おじいちゃんのように 残りの時間を自由に生きるという自由の言葉を大切に  
生きていきたいです。また、自分の道は人が決めるのではなく、  
自分で決めて行動しようと思ひました。また、人権は私たちに与えて  
も大切に人権をみんなが大切にしていたら、ま、と一人一人に自由が増  
えるのではないかとこのことを感じさせてくれました。それからうそは  
悪いことだと思ひていきたけど、この日映画を見てついでにうそは  
悪いことだあることが分かりました。自分が自立したくてうそをつくのは  
悪いことだと思ひました。人のために悪いことをするたためにうそをつくというのは  
悪いことだと思ひました。今後私は悪いことはかたないように心がけてい  
きます。そして、人と人の出会いを大切に日々を生活していきたく  
いです。